



グランドゴルフ in 白子 P.4



参加者 17名

プロの講談を聴く会 II P.5



講演師 神田伊織師

やしお市民まつり P.3



市民まつりパレード

草加せんべい手焼き体験 P.4



参加者 22名

古典を楽しもう P.3



「東海道中膝栗毛」 受講者 31名

水辺の楽校「秋まつり」 P.6



会場の様子

総会・役員会報告

第3回役員会

7月15日(土)13:30～市民団体活動室。1番目の議題は、既に終えている企画講座「熱中症対策」の様子との報告とこれからの企画講座「古典を楽しもう」「グランドゴルフ」「草加せんべい手焼き体験」の準備の報告がありました。2番目の議題は企画講座「講談」についてで、11月12日(日)の実施を目指すことになりました。次に、委員会毎の話し合いが行われ、企画委員会では22日(土)の「古典を楽しもう」と「法話を聴く会」について、協働委員会では「市民まつり」について、新企画委員会では「グランドゴルフ」について、部会委員会では「水辺の楽校」についてそれぞれ話し合われました。次回の日程の確認の後、追加の連絡があり、「大学事務局とOB会執行部との話し合い」、「OB会執行部と大学各期の代表者との懇談会」、子ども食堂「ほっぺ」のドローン飛ばすイベントなどが紹介されました。

第4回役員会

9月16日(土)13:30～市民団体活動室。8月は役員会を行いませんでしたので、久しぶりの役員会でした。1番目の議題は、既に終えている「やお市民大学事務局とOB会執行部との話し合い」、過日行われた「市民まつり実行委員会」、料理部会「料理講習会」の様子との報告がなされ、これから行われる「市民まつり」、企画講座の「グランドゴルフ」と「草加せんべい手焼き体験」、水辺の楽校「秋まつり」、「埼葛人権を考えるつどい」についての準備の報告でした。2番目の議題は企画講座「講談」についてで、11月12日(日)午後2:00～りらーと八条公民館大ホールが決まり、細部の計画作りをすることになりました。次に、委員会毎に話し合いをし、その中で特に、「学長懇談会」については10月には動き始めて2月頃の実施や、来年度の「総会」でのアトラクションにしてはとの提案がなされました。「総会」については日程や懇親会の有無を含めて検討課題と確認され、解散となりました。

第5回役員会

10月21日(土)13:30～市民団体活動室。前回同様に1番目の議題は終了している「グランドゴルフ」に17名が参加して好評であったこと、「水辺

の楽校・秋まつり」に1,500人が来場したこと、「埼葛人権を考えるつどい」にOB会員4名の参加であったことが報告された後、次の日に行われる「市民まつり実行委員会」や企画講座「草加せんべい手焼き体験」の準備の報告、「忘年会」が12月16日(土)午後6時からという連絡がありました。2番目の議題は企画講座「講談」の準備について話し合われました。次に、委員会毎の話し合いが行われ、企画委員会では「学長懇談会」について話され、編集委員会からは11月号作成の計画が出されました。

協働活動

埼葛人権を考える集いに参加

第32回「埼葛人権を考える集い」が今年は越谷市の越谷コミュニティセンターで10月5日(木)開催されました。OB会からは10期田邊氏、13期酒井氏、18期大垣氏、そして4期小林が参加させていただきました。

朝8時に八潮を出発し9時前に新越谷駅前に到着しました。駅から会場までの歩道には埼葛12市町村の小中学生のそれぞれ、「命の大切さ」を込めたメッセージプランターが飾られ、心をなごまされました。



ステージでの発表

今年のテーマは「生(き)」でした。「あらゆる人権問題の解決に向けて、できることから取り組み、毎日の中で誠心誠意を尽くす姿勢は、純粹で混じりけのない「生(き)」への道しるべとなります」(参加者パンフレットより引用)

会場には、今年も被災地の方々へ向けて復興を願う思いを込めた107,869羽の折鶴が飾られ、私たちを迎えてくれました。

八潮市からは、ステージでは①地域で



ハッピーこまちちゃんも登場

ともに生きるナノ&トライ（三郷市との共演）のよさこい&手話ダンス ②千寿会の南京玉すだれ ③サーズデイ・ジャズクラブの演奏

八潮メセナでも演奏していただいています。出店団体として「工房森のこかげ」他2店の出店があり会場を盛り上げていました。

私は2回目の参加となりましたが、多くの方々のご尽力、ご努力、ご協力がなければできない「つどい」であり、こころ温まる「つどい」を今回も感じました。ただ、少し「お祭り気分」になっている自分に反省しています。また、参加したOBの皆さんとも交流ができました。やしお市民大学からも参加されていました。



参加者の皆さん

来年の第33回埼葛人権を考える集いは10月10日(木)春日部市で開催されます。ひとりでも多くの方が参加されるのをお願いしたいと思います。

(4期 小林 義和)

第29回やしお市民まつり開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催が見送られていましたが、4年ぶりに10月22日(日)開催

され、今年のテーマは「このまち好きですふるさとまつり」です。



埼玉県警察音楽隊の行進

けやき通りは午前10時～午後4時まで交通止めされ、オープニングパレード、八潮音頭流し踊り、子どもみこし、大人みこしが行われました。沿道には、焼きいか、焼きそば、リンゴ飴、じゃがバター等多くの出店があり、どの店も買うのに並んでいました。

今年は市役所が工事中のため、ダンス発表会や物産展示即売会など催しものが、市役所仮設駐車場や中央公園、メセナホール他に分散されました

が、今までにない人手でした。

当市民大学OB会も4カ所の立哨で協力させていただきましたが、事故もなく終わったことにほっとしています。立哨に協力して下さった11期 當金孝子さん、小倉文江さん、12期 石川賢吾さん、寺嶋誠さん、13期 堀公保さん、14期 友利明寛さん、15期 渡井基典さん、17期 熊谷敏子さん、後藤弘さん以上の皆様お疲れ様でした。金澤会長、立哨の見回りお疲れ様でした。



多くの人出がありました

(17期 後藤 弘)

企画講座

東海道中膝栗毛

講師 坂本藤次先生 (1期生)

今回の古典を楽しもうは、十返舎一九の滑稽本である。「栗毛」は栗色の馬「膝栗毛」とは自分の膝を馬の代わりに使う徒歩旅行の意である。

弥次（栃面屋弥次郎兵衛）さん、喜多（喜多八）さんの二人が伊勢詣でを思い立ち、数々の失敗や滑稽を繰り返しながら東海道を江戸から京、大阪を旅する様子を、狂言や小咄を交えながら当時の口語で描きだしたものです。

例えば、「小田原泊まりいざごごのこと」

泊まった宿の風呂は、当時上方で流行していた五右衛門風呂で湯の湧いた鉄釜に簀の子を踏み沈めて入る形式ですが、二人とも入り方がわかりません。そして火傷をしないように下駄を履いて入りますが、喜多さん風呂の中ではしゃぎ過ぎ、釜の底を抜いてしまいました。火傷するやら火に湯が流れて煙がたつやらで大騒ぎになりました。根が軽薄でお調子者の二人は、お互いにからかいあうばかりか行く先々で出会う人にもちょっかいを



だす。迷惑なはなしです。そういう愚行の果てに、失敗してひどい目にあっては下手くそな狂歌を読んでオチがつく。怒ったり恨んだりせず笑い飛ばしながら旅をつづける。

当時の宿場や茶店の名物、往来する旅人の様子などが忍ばれて面白い。当時の旅ブームに乗ったこと、江戸時代後期は伊勢参りが盛んになり、多くの人が伊勢に詣でた。そのガイドブックとしての側面があったのだろう。

東海道中膝栗毛は1802（享和2年）から1809（文化6年）にかけて出版された滑稽本（初編から八編）である。人気作家となり刊行は、「東海道中膝栗毛」と「続膝栗毛」あわせて20編22年間の長期に及んだ。

十返舎一九の辞世の句です
「この世をば どりやおいとまに せん香の煙ととともに 灰左様なら」
(ぼちぼちこの世をお暇しますね 線香の煙とともにはいさようなら)

この企画は、令和5年7月22日（土）14時～16時 楽習館映像ホールにて参加者31名で催されました。坂本先生のユーモアたっぷりの解説で私達を楽しませてくださいました。ありがとうございました。（18期 大垣 恵子）

復活しました「グランドゴルフin白子」

両日は、お彼岸を過ぎてもまだまだ暑く、水分補給が欠かせませんでした。1日目は晴天の下で午後のグランドゴルフを楽しみました。専用グランドの起伏や芝のため思うようにならない様子でした。温泉で汗を流した後、何年かぶり



の宴会、カラオケも楽しみました。2日目は曇り空の午前中の競技を行いました。昼食後の成績発表が2



帰ってきた宴会風景①



帰ってきた宴会風景②

日間の日程の締め括りになりました。（16期 鹿野 雅巳）



優勝 渡辺幸男氏(13期)

草加せんべい手焼き体験ウォーキング

10月26日木曜10時、快晴の空の下、楽習館正面に22名の参加者が集まりました。ラジオ体操第1の後、一路草加市青柳町の「草加煎餅丸草一福」本店に向かいました。途中の葛西用水では穏やかな水面に水鳥の姿を見ることができました。葛西用水から



離れると、直ぐに目的地が現れました。出来たての煎餅を試食しながらの説明とビデオ視



聴に続いて手焼き体験をしました。「手焼き」の説明と実演の後は本日のメインイベントの手焼き体験でした。兎に角熱かった。煎餅は直ぐに火が通り、瞬く間に膨れます。それを容赦なくこ



てで平らにする。熱さを忘れる時間でした。醤油を付けて乾いたら完成でしたが、直ぐに持ち帰りの袋に入れたので、今日中には食すようにとのことでした。私は夕食後に濃いめのお茶と頂きました。次の目的地は「和食さと」でした。人数のためか食事が給されるまで時間がかかりましたが、デザートも付けたお膳にとっても満足しました。しばらくの間会話の時間を楽しみ、まだ日が高い内の解散となりました。大変楽しい企画講座でした。(16期 鹿野 雅巳)



プロの講談を聴く会Ⅱ

当日は、講演に関わる時間帯には雨の心配もなくなり、会場には88名の方がお集まりくださいました。今回はお二人の講談を聴くことができ、本格的な講談の会となりました。講談に先だってお二人の掛け合いによる



神田伊織師

「講談の解説」は和やかでとても分かり易いものでした。解説の後はいよいよ講談が演じられました。はじめに神田おりびあ師の「わんぱく竹千代」、次に神田伊織師の「吃の又平」、休憩後に「南部坂雪の別れ」と続けました。

近年では年末と言っても赤穂浪士の話題を巷で聞くことがなくなりました。私達の年代ではとても馴染み深く、懐かしさもあり、とても楽しいものでした。

会場自体はとてもきれいで使い勝手が良く、自然な流れで会が進んでいきました。一つ欠点を挙げるならば、交通の便が少し悪く、駐車場が狭いと言ったことかと思いました。

運営に携わったみなさんお疲れ様でした。そして、整った会場をどうもありがとうございました。



神田おりびあ師



(16期 鹿野 雅巳)

部会活動

料理部会

夏バテ防止メニュー

日時：9月2日(土)10時～

場所：りらーと八幡公民館調理室

参加者：池淵、坂本、菊池、當金、長岡、金澤
(計6名)

参加費：1,500円

献立：夏バテ防止メニュー

ひつまぶし、酢の物、お吸い物、フルーツゼリー

参加者は6名でした。うなぎはこだわりの国産品、まずはお米を研いて炊飯器にセット、次に材料のキュウリ、薬味小



ネギ、ミョウガ、三つ葉を手早く切ったのは坂本氏、長岡氏、當金氏。池淵氏、菊池氏、金澤氏はその周りで必要なボール、小皿を用意しました。6名が自分の



できることをやり進め、協力して12時前に出来上がりました。うなぎは久しぶりの方もいて、みなさんと美味しくいただきました。デザートフルーツはブドウを白玉で包んで白玉団子にしたものです。見た目が可愛く、食べるととても美味しかったです。



(14期 金澤 文子)

水辺の楽校活動部会

水辺の楽校秋まつり開催

10月1日 10:00～14:00 水辺の楽校秋まつり

が中川やしお子どもの水辺運営協議会と八潮市との協働事業として開催されました。OB会もH22年の協議会発足以来参加しています。水辺の楽校は、子どもたちが自然体験活動・水上体験等を、安心安全に親しむ活動の為にできた施設です。

昨年度3月に国交省により「水中歩行路(水害時の水中での歩行体験路)」が完成をしたことを機に今回開催されました。



会場の様子

イベントには、体験ブースとしてカヌー乗船、まき割り、火起こし体験があり、防災体験ができる起震車、自然災害体験車、降雨体験車等、またキッチンカーも出店しました。



水中歩行路の体験

OB会は上記防災体験のブースの受付のお手伝いをしました。多くの子連れ親子が参加されました。OB会が担当した、起震車に355名、自然災害体験車に272名、降雨体験車に251名の方が参加されました。



人手も上場でした

小林が担当した降雨体験車は10ミリの

雨より徐々に強くし、300ミリの雨まで段階的に体験することができます。受付でカッパを着て、車に乗り込みます。私も体験させてもらいました。徐々に強くなる雨と風を経験しましたが、雨に濡れながら、「日頃どんなことに注意し、用意をすればいいか」と頭をよぎりました。「災害は

忘れた頃にやってくる」と、私などは、若い頃言われていましたが、今は「いつ災害が起こってもおかしくない」状況です。(帰宅後、簡単に災害時の常備品を確認しました。)

子供たちの中には、雨にぬれるのが楽しいようで受付の私に

「おじいちゃん、もう一度やらせて！」という子が20名近くおり、再度体験してもらいました。



降雨体験車

埼玉新聞に掲載され、「八潮 防災体験や自然楽しむ」との記事の中では火起こし体験に悪戦苦闘する子どもたちの写真が掲載されていました。

今回OB会を含め10名という多くの方々にご協力をいただきました。有難うございました。

(4期 小林 義和)

同窓生の話

「いいの会」

毎度、11期いいの会瓦版、秋！

令和5年10月9日(月)スポーツの日の祭日、午後1時より、早朝から久しぶりの雨、そんな中、10名の参加がありました。



今年は35℃以上の猛暑が毎日続き、出掛ける時は水分携帯必須、異常な毎日で、皆さんは元気に過ごせましたか？

いいの会代表玉川代表の声掛けでなじみのコーヒーショップ「ブルービーンズ笹垣」で挽き立てコーヒー、手作りケーキで約2時間のお茶会と近況報告等、有意義な時



を過ごしました。お忙しい中での岩間先生のサプライズ参加もあり、皆で昔話に花が咲き大いに盛り上がりました。11期の皆さん、次回の参加もよろしくお祈いします。(11期 小倉 文江)

市民大学関係

やしお市民大学OB会執行部と

やしお市民大学事務局との打ち合わせ

7月19日(水)午前9:30～。楽習館団体活動室で行われた表題の会では、両組織ともトップが代わったことを受けて行われたものです。両者の挨拶の後、それぞれの組織の現状と活動の方向性について紹介をし、意見交換をしました。特に、ここ数年において顕著な両組織への参加者減少傾向をいかに増加に転換させるかが中心の議題になりました。感想として、組織の存在感を高めるために市民への情報発信が大切で、「活動の工夫」や「両者の協力」を進めていきたいと思います。まず、OB会としては市民大学の良さを事ある毎に発言・発信していくことですね。

やしお市民大学OB会役員・各期生代表と

事務局との懇談会

今回は、2月1日(水)に続いての第2回目、事務局「内田」代表とOB会「金澤」会長の挨拶の後、事務局からの説明、グループでの話し合いと報告という流れで行われました。議題は「いかにして市民大学を多くの



はじめの挨拶をする「金澤」会長

人に知っていただき、入学者を増やすか」でした。講座の内容について、情報発信について、卒業生の果たせる役割についてなどの意見が交わされました。答えは、市民大学の本質的な役割を踏まえた上に、時代の要求を偏ることなく把握する中で見えてくるのかも知れませんが、その輪郭でさえ掴めていないかも知れません。次回は12月13日(水)に行うということの他数点の連絡の後、内田事務局代表のあいさつで解散となりました。

市民公開講座

9月30日(土)午後1時30分より始まった市民公開講座は、大山学長の挨拶の後、獨協大学教授「高松和幸」氏の「活気あるまち八潮のまちづくり」をテーマにした講演でした。そのための課題



開会前の様子

についての話から始まり、「やしお市民大学の紹介」、「活気あるまち」とはどのようなまちかと話が続きまし。そして予想される「やっかいな問題」にどう取り組むかと言った話の中で、「成解」と言う言葉を使い、満足の行く答えを追求していく中で見つけ出す答えを表していたと思いました。そして、ハブとサードセクターという言葉で表した人材と組織について話をされました。結論として、やしお市民大学は市民のハブ育成にとって極めて有意義なもので、「ヤシャブシ」のように社会貢献できる人物(ハブ)の育成を期待するものでした。「ヤシャブシ」は痩せた土地に最初に根を張り、枝葉を伸ばして土地を肥やし、他の植物が繁栄し始めると自分は枯れていくという植物です。



講師 高松和幸氏



「ヤシャブシ」

(16期 鹿野 雅巳)

連絡事項

行事予定

- 2月を予定：企画講座
「学長懇話会」
- 1月24日(水)：企画講座
「法話を聴く会」
- 2月3日(土)：市民大学行事
「大学院研究発表会」

- 2月17日(土)：市民大学行事
「自主研究発表会」
- 3月2日(土)：市民大学行事
「卒業式・修了式」
- 3月後半の(土)(日)：協同活動
「第18回中川やしお花桃まつり」
- 4月20日(土)：総会
「令和6年度やしお市民大学OB会 総会」

次号の案内

次回3月発行の66号は、プロの講談を聴く会Ⅱのアンケート集計結果、法話を聴く会の様子、大学の発表の内容紹介などです。ご期待下さい。

投稿に当たって

- ・記事は300~700文字程度とし、できるだけ写真添付をお願いいたします。
- ・提出方法は問いません。編集委員、及び下記連絡先にお問い合わせください。
- ・会員の皆さんの自由な投稿を特別寄稿として掲載します。皆さんの趣向を凝らした投稿をお待ちしています。

市民大学OB会通信QRコード

バックナンバーが見られます。スマホ、タブレットでQRコードを読み取ってください。



編集後記

今回は、プロの講談を聴く会Ⅱの原稿を待っての編集作業となったこともあり、発行が12月になってしまいました。発行月を大きくずれることのないように努力して、今後も取り組みます。

やしお市民大学OB会OB通信編集委員会

編集委員 上村 義弘 (11期)

堀 公保 (13期)

大垣 恵子 (18期)

岡田 広行 (18期)

委員長/連絡先/記事送付先：

鹿野 雅巳 (16期)

(PCメール) mfkano@td6.so-net.ne.jp

(郵便) 〒340-0822 八潮市大瀬 4-1-11

(電話・Fax) 048-995-4892

(携帯メール) kleostar3@gmail.com